

47都道府県プロフィール
2024年1月～2024年06月

京都府

京都で外国人住民が急増、コロナ禍前比 1 万人増える…目立つベトナム・ネパール人

2024/05/29

京都府内に住む外国人が、過去最多ペースで増えている。昨年末時点で 7 万 4 6 6 4 人となり、コロナ禍前と比べて 1 万人以上増えた。留学や技能実習、家族滞在の伸びが大きく、特にベトナム、ネパールからの来日が目立っている。過去 1 0 年のデータを見ると、府内の外国人住民は右肩上がりで、2 0 1 8 年に初めて 6 万人を超えた。コロナ禍の影響で 2 1 年に再び 5 万人台に戻ったが、渡航制限の緩和などを受けて 2 2 年に急回復。この傾向は今年に入っても続いている。



男山団地で開かれた交流イベント。ベトナム人住民が料理を振る舞った（昨年 2 月、京都府八幡市提供）

孤立防ぎ不法就労させない 外国人雇う企業向けセミナー 京都

2024/06/25

京都府内で働く外国人が増加するなか、京都市内で企業向けのセミナーが開かれ、外国人の孤立を防ぎ安心して働ける環境を整えたり、不法就労を助長しないよう在留資格を確認したりすることなどが呼びかけられました。

厚生労働省によりますと、京都府内の外国人労働者の数は、去年（令和5年）10月末の時点で2万8506人と年々増えています。セミナーは、こうしたなか、京都府警などが開いたもので、府内で外国人を雇っている企

業13社が参加しました。



加美電機京都工場が自転車ヘルメット着用宣言

2024/03/07

福知山市三和町みわ、長田野工業団地アネックス京都三和に立地する加美電機京都工場（田中和廣工場長）が、京都府警福知山署から「自転車ヘルメット着用促進宣言事業所」の認定を受けた。同社からヘルメットを支給された自転車通勤の外国人技能実習生たちが、着用の徹底を宣言した。昨年4月に自転車乗車時のヘルメット着用が努力義務化されたが、府内の着用率は10%ほどで、依然として低い。同署管内で昨年発生した自転車事故は12件で、11月には広小路通りで、ヘルメット未着用の自転車の女性が車と衝突し、頭部に重傷を負う事故があった。



キュウリの苗1万本 収穫100トン目指す三俣の農園

2024/05/23

京都府福知山市三俣のみまた農園（足立秀之社長）で、キュウリ苗の植え付けが進められている。ハウスと露地の計150アールで、合わせて1万本を植える予定。昨年は60トンを収穫したが、今年は大台の100トンをめざす。福知山では以前からキュウリの生産が盛んで、「自分もやってみよう」と、父の農地を引き継いで、10年前から栽培を始めた足立社長（49）。苗400本からスタートし、徐々に数を増やしていった。



京都府京丹後市で働く外国人対象に交通安全教室 自転車の 交通ルール学ぶ

2024/05/06

京都府警京丹後署は、このほど京都府京丹後市内で働く外国人対象の交通安全教室を開いた。ベトナム出身の女性8人が自転車の交通ルールを学んだ。同署管内の今年の自転車事故は5月20日までに23件（物損21件、人身2件）で、出会い頭が多いという。教室は21日にあり、同市弥栄町のプラスチック成形品製造・加工業の会社で働く技能実習生が参加した。同社ではベトナム出身の26人が寮から会社まで約1キロを自転車で通勤している。



幅約20センチのコースをまっすぐに自転車で走行する外国人技能実習生（京都府京丹後市）

カキ養殖で技能実習に来たはずが、解体現場で働かせる 容疑で京都の男 とベトナム人逮捕

2024/02/02

京都府警組対1課と山科署は2日、入管難民法違反（不法就労助長）の疑いで、京都市伏見区醍醐、解体業の男（49）を再逮捕し、同法違反（資格外活動）の疑いで、ベトナム国籍の住所不定、無職の男（30）を逮捕した。解体業の男の再逮捕容疑は昨年7～12月、広島県内でカキの養殖に従事する技能実習生として来日していた無職の男を、府内や大阪府の解体現場で不法に就労させた疑い。無職の男の逮捕容疑は昨年7～12年、資格外活動の許可を得ずに解体現場の作業員として働いた疑い。2人は容疑を認めているという。



京都府警本部

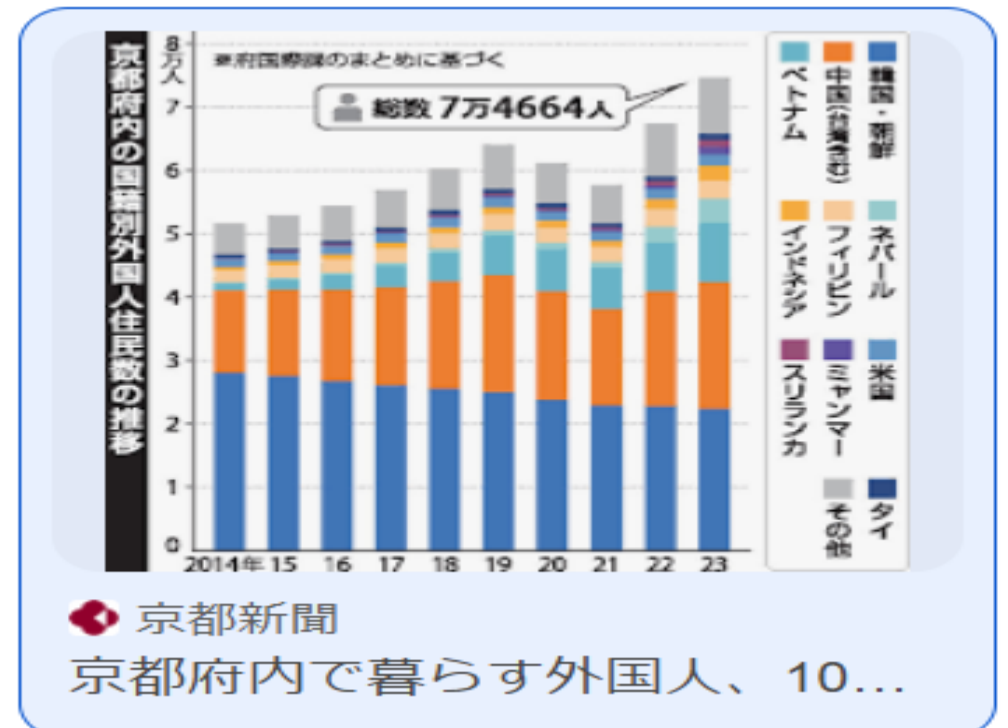
47都道府県プロフィール
2024年07月～2024年12月

京都府

京都府内で暮らす外国人、10年前の1・4倍に増えた背景 増加が目立つ中国やアジア圏

2024/09/23

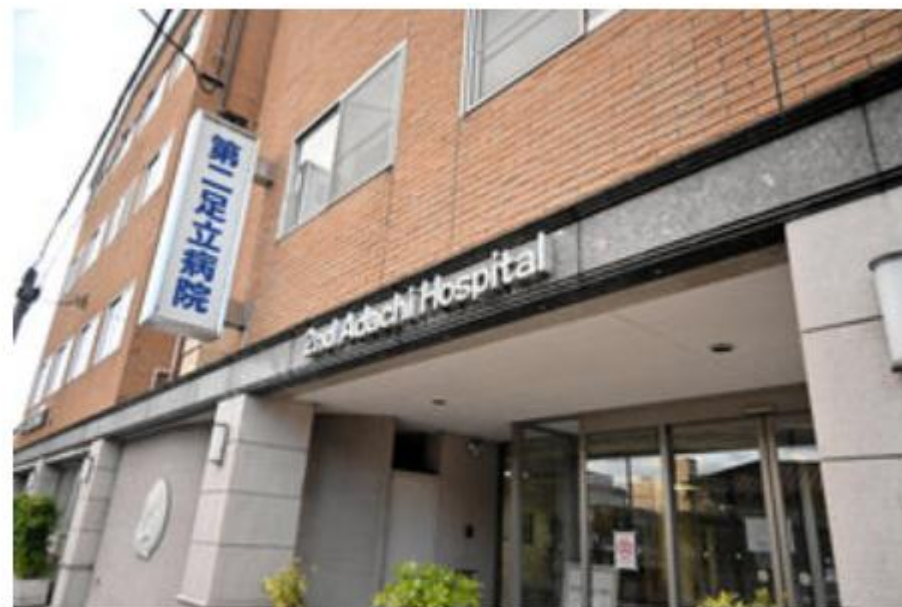
京都府内で暮らす外国人が2023年までの10年間で1・4倍の約7万5千人に増加した。技能実習生や留学生などの受け入れが進んでいるためで、ベトナムやネパールなどアジア圏からの来訪が目立つ。政府は27年度にも技能実習に代わる新たな受け入れ制度「育成就労」を始める方針で、府は外国人労働者のさらなる増加を見込み、日本語の学習支援や



「無料産院」 京都で始まって1年半 公的支援受けられず孤立する妊婦

2024/12/24

京都市南区の産婦人科病院「第二足立病院」で、経済的に困窮する妊婦の出産費用をNPO法人が全額負担する「無料産院」の取り組みが始まって1年半が経った。背景には、妊娠がわかって公的支援を受けられず、孤立する女性たちの存在がある。おなかが痛いけれど、所持金も、母子手帳もない。どうしたらいいですか……。第二足立病院には、おなかが大きくなった女性が突然訪ねてくることがある。妊娠をきっかけに仕事や学校に行けなくなった人、家族との関係性やDVに悩んでいて誰にも相談できなかった人、性暴力の被害にあった人……。駆け込む女性たちの状況は厳しく、複雑なことが多い。



「無料産院」がある第二足立病院＝2024年12月4日午後3時50分、京都市南区、関ゆみん撮影 

<https://www.asahi.com/articles/ASSDR4FXXSDRPLZB00HM.html>

京都府内で増加する外国人「日本語教育」追い付かず 学習支援どうする？

2024/09/23

京都府内で暮らす外国人が増える中、受け入れ環境の整備が課題となっている。日本語教室は5年間で5教室増えたが、学習を手助けするボランティアが不足し、受け入れを断らざるを得ないケースも発生している。外国籍児童への日本語教育を行っているのは3市



◆ 京都新聞
京都市内で増える外国籍の子どもたち 日本語...

技能実習生を迎え入れました！

2024/11/27

11/12（火）、インドネシア技能実習生の入社식을福村建設株式会社、[フクムラ仮設株式会社](#)合同で行いました。弊社では初の受け入れです。去年の2月に現地で面接をしてから9か月、無事にこの日を迎えて良かったです。実習期間は3年間。実習期間で様々なことを学びながら、日本の文化も体験してもらえたら、と思っています。彼らが楽しく意義のある3年間で過ごせるよう、みんなでサポートしていきます:)



外国人労働者巡る犯罪防げ、生活習慣違いも理解を 京都府警がレクチャー

2024/07/095

京都府内で外国人雇用が拡大する一方、元技能実習生らが絡む不法な残留や就労事件が後を絶たない。京都府警はあいおいニッセイ同和損害保険京都支店（京都市下京区）と共催で「企業のための外国人雇用対策セミナー」を開き、外国人労働者が犯罪に巻き込まれるのを防ぐために雇用者側が講じるべき対策をレクチャーした。オンライン参加も含め府内外から20社以上が参加した。



「外国人労働者を犯罪に加担させないような取り組みを」と訴える京都府警の小坂紀久夫国際捜査室長＝京都市下京区

<https://www.sankei.com/article/20240709-FUSFPSY4KNPDXAHTPELT5G2HCI/>

京進の国際人材交流事業、特定技能制度施行から入職者数が17.4倍に グ ループ事業の強みを活かしたワンストップ運用

2024/08/19

株式会社京進の国際人材交流事業が2014年の事業開始から10年となりました。現在は外国人と日本の企業を結ぶサービスサイト「京進の外国人材就業支援 ミツケルにほんのしごと（以下、ミツケルにほんのしごと）」を運用し、外国人材を採用したい事業者と日本で働きたい外国人材のマッチングを行っています。特定技能外国人材紹介のサービス開始に関しては、初年度と比較し2024年7月末時点では日本国内の企業・団体への入職者数が累計で17.4倍となりました。



<https://group.kyoshin.co.jp/news/737792/>